

県の世界遺産

福岡県には、世界遺産（世界中のみんなで大切に
していくべき宝物）として登録された遺産が2つ
あります。
実際に行ったりして、遺産について調べてみましょう。

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

沖ノ島には、古墳時代から平安時代ははじめにかけての
約500年もの間、航海の安全を祈って行われた古代の
まつり（祭祀）の様子を伝える遺跡が残されているんだ。
沖ノ島を神聖なものとする伝統が古代から現代まで
続いているこの遺産群は、世界的にも貴重な存在として、
2017年7月に世界遺産に登録されたんだ。



宗像大社 沖津宮遙拝所



新原・奴山古墳群

行くことのできない沖ノ島を、はるか遠くから
拝むための場所
沖ノ島でまつりを行った古代の豪族がつくった古墳（お墓）



明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業

江戸時代の終わりから明治時代にかけて、日本は、西洋の技術や
機械を取り入れて、約50年という短期間に、驚くべきスピードで産
業を発展させたんだ。

「明治日本の産業革命遺産」は、日本の産業革命の大きな力とな
った重工業の遺産として、2015年7月に世界遺産に登録されたよ。



写真提供/日本製鉄九州製鉄所

官営八幡製鐵所 旧本事務所

1899年に建てられ、製鐵所の中心的な
役割を果たした初代本事務所



写真提供/日本製鉄九州製鉄所

遠賀川水源ポンプ室

1910年以来、現在も動き続けている製
鐵所の送水施設



三池炭鉱 宮原坑

重工業の燃料となる石炭を産出し、日本の
近代化を支えた主力炭鉱



三池港

三池炭鉱で産出された石炭を運び出すため
につくられ、現在も産業港として使われている



※官営八幡製鐵所 旧本事務所、遠賀川
水源ポンプ室は非公開施設です。
眺望スペースから施設の外観を見学
することができます。

公式HP

